

関西G空間フォーラム in 兵庫

GISとデータ利活用の歩み

～ 阪神・淡路大震災から30年～

「関西G空間フォーラム」は、地理空間情報に関わる様々な分野の技術開発、学術研究及び関連産業の動向に関する情報提供を行うもので、毎年大阪市で開催するほか、近畿地方のその他の都市においても地域に密着した活動として順次開催しております。

今年度は、兵庫県神戸市において、「GISとデータ利活用の歩み ～阪神・淡路大震災から30年～」をテーマに、阪神・淡路大震災を契機に普及・発展してきたGIS関連技術について、地理空間情報の先進的な利活用事例等の講演などを行います。

背景：地理院地図3Dで神戸市中央区付近都市圏活断層図を表示

令和6年12月23日（月）

会場：兵庫県中央労働センター 2階大ホール及び201号室

入場無料（要事前申込） 定員200名

申込期限：12月17日（火）

講演会：13:00～17:00

展示会：12:00～17:30

測量

CPD

建設

CPD

※各申請に必要な受講証明書を発行します（条件有）

申込方法の詳細は、下記URLまたはQRコードを読み取りのうえご確認ください。



<https://www.gsi.go.jp/kinki/gforum2024hyougo.html>

交通アクセス

神戸市営地下鉄

「県庁前」駅・西出口③より西へ徒歩8分

神戸高速鉄道

「花隈」駅・東口より北へ徒歩10分

JR神戸線・阪神電鉄

「元町」駅・西口より

西北へ徒歩15分



関西G空間フォーラムin兵庫 プログラム

講演会 (2階 大ホール)

司会：(一社)兵庫県測量設計業協会 事務局長 松田 智

13:00~13:10 開会式

地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会会長
大阪工業大学 名誉教授 吉川 眞
兵庫県 土木部長 上田 浩嗣

13:10~13:50 特別講演「国土地理院 1 : 25,000活断層図刊行の経緯と解説」

元全国活断層帯情報整備検討委員会委員長
京都大学 名誉教授 岡田 篤正

13:50~14:30 防災・減災に役立つ地理空間情報の整備と活用

国土交通省国土地理院 応用地理部長 大塚 孝治

14:30~14:40 「地理空間情報の利活用に関する展示会」の展示内容紹介

参加団体

14:40~15:20 休憩 (地理空間情報の利活用に関する展示会をご見学ください)

15:20~15:50 大規模災害時の人工衛星画像の活用検討などについて

兵庫県 土木部 技術企画課長 吉村 達郎

15:50~16:20 神戸市のGISとデータ利活用の取組

神戸市 企画調整局 政策課係長 (データ利活用担当) 松尾 康弘

16:20~16:50 UAVを活用した災害調査

～令和5年8月台風7号災害におけるUAVレーザを用いた堆積土砂量の算出～

(一社)兵庫県測量設計業協会 測量小委員長 魚本 崇

～令和6年能登半島におけるUAVを用いた河川等被災状況調査～

(一社)兵庫県測量設計業協会 技術委員長 玉利 正人

16:50~17:00 閉会式

国土交通省国土地理院 近畿地方測量部長 田中 宏明

地理空間情報の利活用に関する展示会 12:00~17:30 (201号室)

◆ (一社)兵庫県測量設計業協会 ◆ 兵庫県 ◆ 国土地理院近畿地方測量部

1995/1/20 国土地理院撮影 神戸市東灘区付近

2021/10/15 国土地理院撮影 神戸市東灘区付近

主催：地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会 関西G空間フォーラムin兵庫実行委員会
国土交通省国土地理院近畿地方測量部、兵庫県、神戸市、一般社団法人 兵庫県測量設計業協会、
公益社団法人 日本測量協会関西支部、一般社団法人 地理情報システム学会関西支部